生成AI連携サービス for i

2024年9月



AGENDA

- **1** 生成AI連携サービス for i サービス概要
- 2 各種テンプレートおよび利用例
- 3 利用ケース
- 4 活用環境イメージ
- 5 各コンポーネントの役割
- 6 導入スケジュール例



1 生成AI連携サービス for i サービス概要



ベル・データでは、Microsoft Azure OpenAl Service*をビジネスで活用頂くための環境構築をご支援いたします。 創業以来培ってきたIBM i 環境の構築・運用ノウハウを基に、IBM i 内にあるデータの活用環境のご支援が可能です。

【構築支援内容】

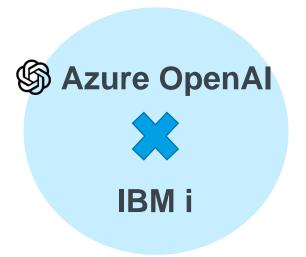
- Azure環境の構築
- OpenAI環境と**IBM i 接続環境(VPN接続**)
- OpenAI環境への社内ドキュメント転送環境
- チャットインタフェースからIBM i や社内ドキュメントを活用できるアプリケーションの実装

【サービス機能】

- **IBM i 環境でご利用頂ける**テンプレートの提供
 - ・お客様環境でIBM iデータ操作(SOL生成)テンプレート&メニュー
 - ・お客様のデータ操作から役に立つクエリーを保存し次回に活用できるナレッジ機能
 - ・業務文書検索用のテンプレートの提供(業務文書を読み込ませる)
 - ・文書検索メニュー(業務文書を読み込ませるサポート)
- ・生成AI for IBM iに関するQ&A技術支援サービス

【サポート】

- 生成AI連携サービス for i の活用をスタート頂くための伴走支援サービス
- 業務文書の活用のための伴走支援サービス



*Azure OpenAl Serviceとは、Microsoft社が提供する多様なクラウドサービスを利用できる「Microsoft Azure」において、OpenAl社が開発したGPT-4等の生成AlのモデルをAPI経由で使用できる法人向けサービスです。

2 各種テンプレートおよび利用例 IBMiデータ操作の業務テンプレート





よく使う質問をメニュー として登録可能

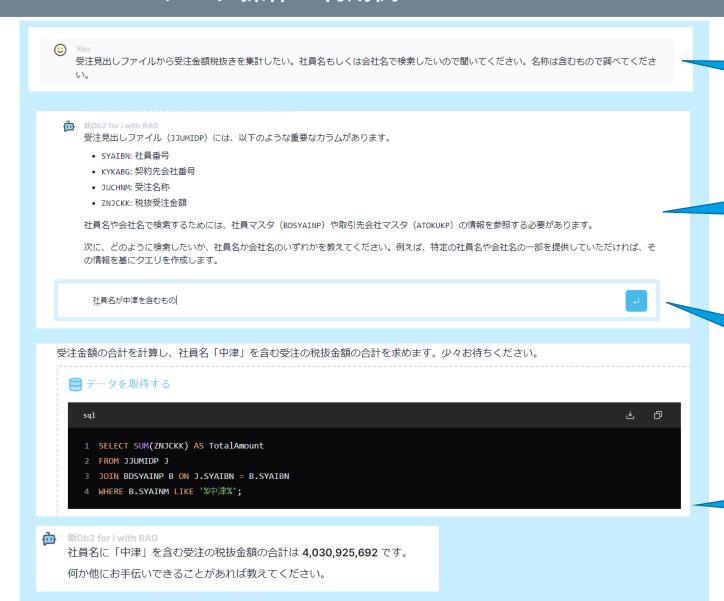
メッセージ送信先:新Db2 for i(読み取り専用)

ل

Shift + Enter キーで改行します。

2 各種テンプレートおよび利用例 <u>IBM i データ操作の利用</u>例





日本語で質問を入力

メニューからの選択 **Or** 自由入力による質問

チャットボットが回答

それに対して追加の質問 (情報)を入力

チャットボットが最終結果 を回答

2 各種テンプレートおよび利用例 ナレッジの利用例





You

サービス提供先は取引先マスタ(ATOKUKPテーブル)の会社名を調べることで特定できます。RAG情報としてナレッジ登録してください



新Db2 for i with RAG

RAGヘデータ登録を実行する

サービス提供先は取引先マスタ(ATOKUKPテーブル)の会社名を調べることで特定できます。具体的には、会社名は KAISNM カラムに格納されており、必要に応じて特定の文字列を検索することができます。

RAGヘデータ登録を実行しますか?

宝行する

キャンセル



新Db2 for i with PAC







取引先マスタの会社名調査方法 ID:15NVBIACTGGCt5IC7ipk スコア:0.47671286584333644 サービス提供先は取引先マスタ (ATOKUKPテーブル) の会社名を調べることで特定できます。具体的には、会社名は KAISNM カラムに ... 取引先マスタの検索方法について ID:dEkfiIHgNEZ8ZEYn32rc スコア:0.32395229603224607 会社は取引先マスタ(ATOKUKPテーブ ル)を使用して検索する必要がありま す。具体的には、会社名は KAISNM カラムで表されており ...

受注金額の報告

1D:HWMKVvLupp5JUA5Ak00I スコア:0.30877627749613645 社員番号: 3 税抜受注金額: 39,846,680円 社員名: 真野 喜市 データ操作業務の 知見を登録

> (例) ビス提供先

「サービス提供先」は 社内システムの何の項目を意 味しているのか

次回の検索や他のメン バーが検索をする際にAI が参考にしてくれる



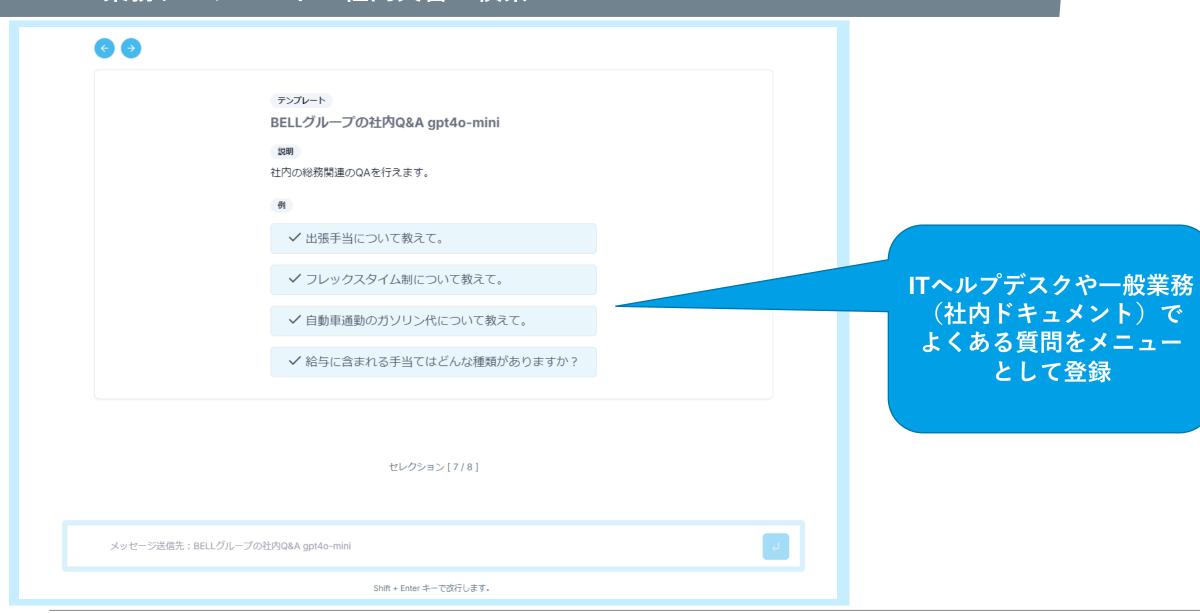
サービス提供先に関するナレッジとして、以下の情報が登録されています。

1. 取引先マスタの会社名調査方法

• 内容: サービス提供先は取引先マスタ(ATOKUKPテーブル)の会社名を調べることで特定できます。具体的には、会社名は KAISNM カラム に格納されており、必要に応じて特定の文字列を検索することができます。

2 各種テンプレートおよび利用例 業務テンプレート 社内文書の検索





3 利用ケース(1/4)



利用ケース① 社内ドキュメント(規定、マニュアル等)のAIチャットボットによる回答



従来のチャットボットサービスと異なり、 「**質問と回答」を事前に作成しなくても、** 社内ドキュメントをAIが読み込み、回答を生成し、回答してくれる。 ⇒管理者が膨大な回答パターンや表記の揺れへの対応を考慮する必要がなく、手間なく運用できる

社内文書(就業規則のPDF)を元にしたO/A

2 応答をやり直す



©2024 BELL DATA, Inc.

[↑ 戻る





利用ケース② 社内文書を使ったマーケティング活用、キャッチコピーの生成と説明文の生成



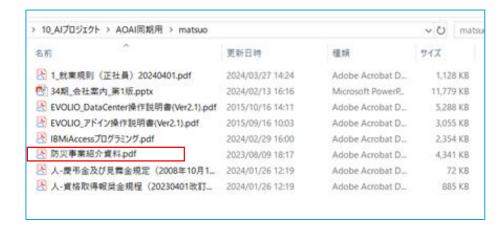
チラシや提案資料、イベント時のキャッチコピーなど、これまで担当者が1から案を創出していたケースなどAIが案を 複数用意してくれる。短文だけではなく、説明文も作成してくれるため、アイデアの拡張や業務の効率化を図ることが できる。

社内文書(紹介資料のPDF)を元にしたQ/A

取り入れながら、防災イノベーションを推進しています。」

防災事業紹介資料.pdfを参考にして、安心に関わるキャッチコピーを10個つくってください 提案するキャッチコピーは以下のとおりです: 「安心な生活を守る、防災のパートナー」 「安心と準備、未来に備える」 「安全な暮らしのための防災ソリューション」 「防災のプロが守る、あなたの安心」 「備える力で安心を育む、防災の専門家」 「安心を共に築く、地域の防災パートナー」 「安全のための防災イノベーション」 「未来への備え、安心とともに」 「災害に強い暮らしを実現する防災ソリューション」 「あなたの安心を守る、防災のスペシャリスト」 これらのキャッチコピーは、安心と防災の重要性を強調し、地域や個人の安全を守ることをアピールしています。実際のマーケティング戦略に合わ せて適切なキャッチコピーを選択することが重要です。 「安全のための防災イノベーション」に関する説明文を考えてください 「安全のための防災イノベーション」に関する説明文を考えます。

「私たちは、安全のための防災イノベーションを推進しています。防災の専門家として、災害時において置き去りにされる人がいない社会を実現す るために、さまざまな取り組みを行っています。まず、備蓄食に関する20%問題を解決するために、食の制限のある人々やアレルギー患者、高齢 者など、特別なニーズを持つ人々に対しても安心・安全な備蓄食を提供しています。また、防災備蓄品のローリングストックの実現を目指し、非常 用に準備されたものを日常のイベントで活用したり売却するなど、備蓄管理の最適化を図っています。さらに、自治体間連携や官民連携を通じて、 防災の連携を促進し、流通在庫を効果的に活用する仕組みを構築しています。私たちは、安全な社会の実現に向けて、常に新たなアイデアや技術を 社内の文書



3 利用ケース (3/4)



利用ケース③ 社内ITヘルプデスクをAIチャットボットにて回答



利用ケース①と同様に過去の対応履歴等がドキュメント化されていれば、管理者が膨大な回答パターンや表記の揺れへの対応を考慮する必要がなく、自動でヘルプデスク問合せを対応できるようになる

社内文書(対応履歴)を元にしたQ/A

メールの添付ファイルが大きいが制限あるか?

場 「質問」: メールの添付ファイルが大きいが制限あるか?

「回答」: 1通辺りの受信メール容量は最大50MB、送信は25MBになります。ただし、メールボックス全体の容量としては無制限です。

大きなファイルはどう送ればいいか

「質問」: 大きなファイルはどう送ればいいか?

「ベル・データ参考情報」: OneDriveを使用して外部へ大容量ファイルの送信が可能です。Office365のアカウントにサインインしてください。 画面内の「新規」をクリックしてください。

送信先の会社名のフォルダを作成してください。(例:ベル・データ)

アップロードから共有したいファイルを添付

リンクをコピーを選択

表示されたリンクをコピーしてください。

相手先へリンクを共有(メールなど)し、相手先でダウンロードできます。

注意事項として、フォルダ名は送信先の会社名に設定し、アクセス権は[全てのユーザー]に対し編集許可チェックを外すように設定します。また、 1つあたりのアップロード容量は15GBであり、保管期間は1ヶ月です。1ヶ月以上経過した場合は予告なく削除されることがあります。

この方法では大容量ファイルも安全かつ効率的に送信することができます。

社内の文書

名前		更新日時	種類	サイズ	
🕙 0.情報システム対応履歴.xlsx		2024/07/22 13:17	Microsoft Excel ワ	14 KB	
🛃 1_就業規則(正社員)2	0240401.pdf	2024/03/27 14:24	Adobe Acrobat D	1,128 KB	
質問事項	回答		U		
	OneDriveを使用して外部へ大容量ファイルの送信が可能です。				
	Office365のアカウントにサインインしてください。				
	①画面内の「新規」をクリックしてください。				
	②送信先の会社名のフォルダを作成してください。(例:ベル・データ)				
	③アップロードから共有したいファイルを添付				
大容量ファイルの送信したい	④リンクをコピーを選択				
	⑤表示されたリンクのコピーしてください。				
	⑥相手先へリンクを共有(メールなど)してください。相手先にてダウンロードできます。				
	フォルダ名につい	いて、送信先の会社名にしてくた	ぎさい。		
	アクセス権について、対象は[全てのユーザー]で、編集を許可のチェックを外してください。				
	1ファイルあたりにアップロードのできる容量は15Gになります。				
	ファイルの保管期間が1ヶ月になります。				
	1ヶ月以上経過したものについては予告なく削除する場合が有りますので予めご了承ください。				
メールサイズ制限はありますか	1通辺りの受信メール容量は最大50MB、送信は25MBになります。				
	メールボックス全体の容量としては無制限です。				
	PCを再起動します。				
	ネットワークケーブルが正しく差し込まれていることを確認します(Wi-Fiを使用している場合は				
	有効になっているか確認)				
	それでも接続できない場合、IPアドレスの再取得を試みます(コマンドプロンプトを開き、ipcon				
	/releaseとipconfig /renewを実行)				
	それでも解決しない場合、情シスサポートに連絡し、接続状況やエラー状況を報告してください				

3 利用ケース (4/4)



利用ケース④ SQL生成を活用したデータ抽出業務等の効率化



IBM iのデータの日本語テーブル名、カラム名を使って自然言語でやり取りできるため、 SQLやシステムの知識がない人でも、欲しいデータをしたりできるようになる。

IBM iテーブルの操作(SQL生成)



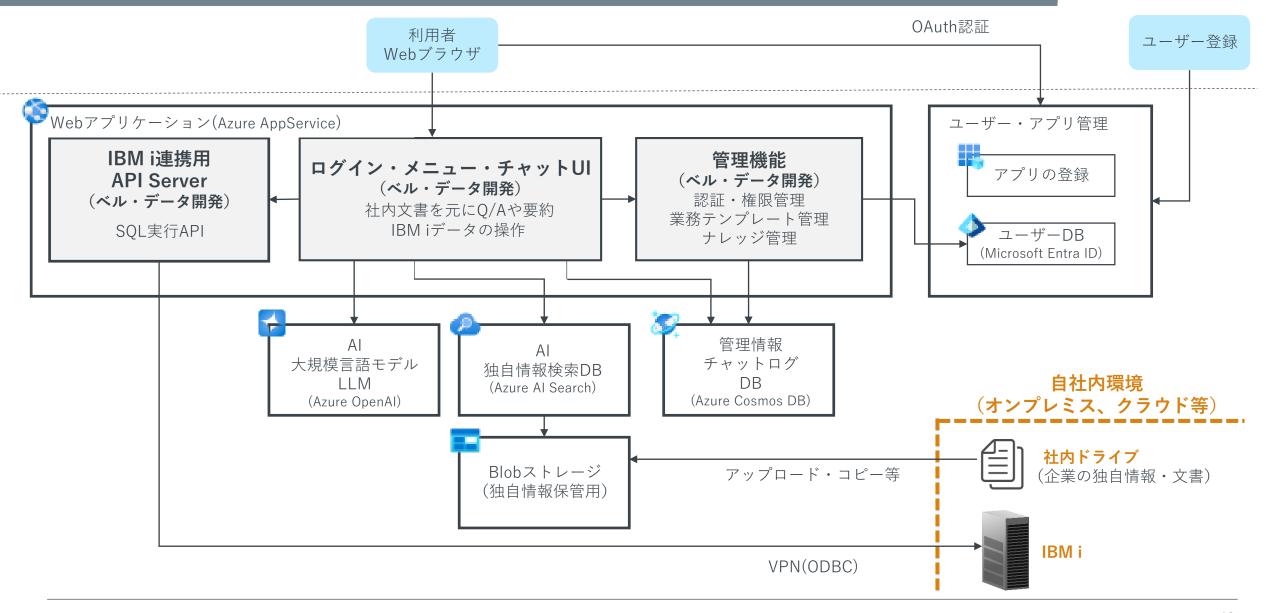
「中津」を含む社員名に基づく受注金額税抜の合計は 4,030,925,692 です。

IBM iの日本語テーブル名や日本語カラム名の利用して 自然言語でやり取りできる



4 活用環境イメージ





5 各コンポーネントの役割



コンポーネント	用途	利用ケース
利用者 (Webブラウザ)	利用者は自身の端末上のブラウザを介し接続し、事前に発行されたユーザーIDを使用しログインする。チャットインターフェースを通してAIモデルに対し質疑応答を行うことができる。	共通
Microsoft Entra ID (ユーザーデータベース)	アプリケーションと連携し、利用者の認証を行う。利用者のユーザー ID とパスワードを保管する。	共通
Azure AppService (Webアプリケーション)	利用者の認証、質問の受け付け、ドキュメントDBの検索、生成AIへの入出力、利用者への回答出力、質疑応答ログの記録を行う。	共通
Azure OpenAI (AIモデル)	アプリケーションから入力される情報から回答(orSQL)を生成し返却する。	共通
Azure CosmosDB (管理情報データベース)	アプリケーションの管理情報(ユーザー権限、対話履歴ログ、テンプレート情報, 追加ナレッジ)を蓄積する。主に管理(Admin)UIを通し変更管理される。	共通
IBMi 連携用API Server (APIサーバ)	アプリケーションから接続情報を受け取り、IBM iへSQLを発行する。	IBMi連携機能 利用ケース④
Azure Al Search (ドキュメントデータベース)	企業独自情報(社内文書)をベクトル(数値化)変換し、蓄積する。アプリケーションからの情報検索要求を受け取り、結果を返却する。	社内文書連携機能 利用ケース①、②、③
Blobストレージ (ドキュメント保管)	企業独自情報(社内文書)を保管する。(pdf,csv,txt, etc)	社内文書連携機能 利用ケース①、②、③

6 導入スケジュール (例)



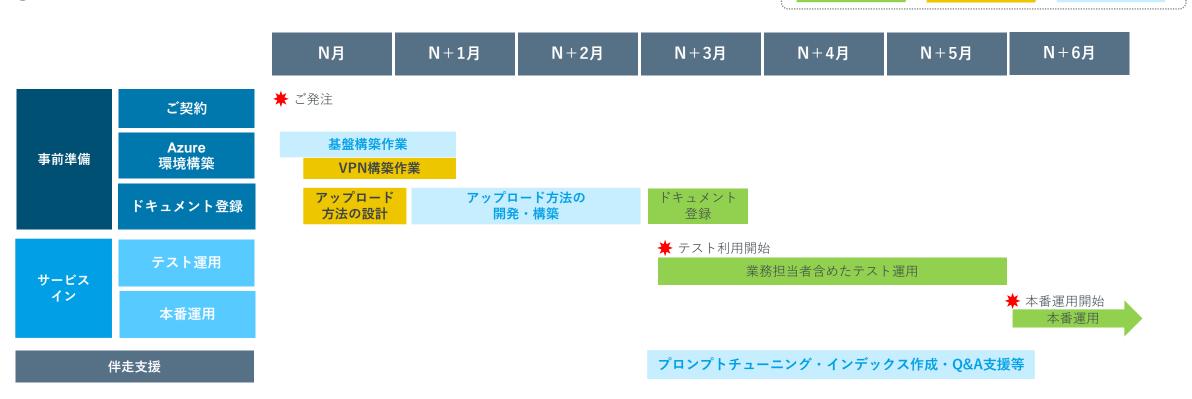
弊社作業

貴社作業

協同作業

【社内ドキュメントのAIチャットボットによる回答環境構築時の例】

- 導入STEPイメージ
- ①Azure環境構築
- ②ドキュメント登録
- ③テスト運用
- 4本番運用



ありがとうございました。

